

IC2012 in Toyama, Japan

Internet Conference 2012

インターネットコンファレンス 2012

Toyama International Conference Center

富山国際会議場 大手町フォーラム

11/15(Thu.) -16(Fri.), 2012

<http://www.internetconference.org/>

写真素材提供: (社) 富山県観光連盟

■開催にあたって

インターネットは、単に計算機を繋ぐだけの技術から、情報を伝える基盤へと発展し続けています。今後ますます社会的な重要性が増していく情報流通に対応していくためには、大容量バックボーンを支える技術、様々な環境に応じて適切な手段で情報にアクセスするための技術、安全で安定した通信を保証する技術、安心して利用できる通信手段を提供する技術、広域に分散した計算資源を統合活用する技術、省電力、省資源な技術など、より高度な技術革新が必要です。

本年も IC2012 を開催する運びになりました。本年は昨年までのコンファレンスにも増して、質の高いかつ幅の広い課題を扱っていきたいと思っております。奮って論文の投稿をお願い申し上げます。

日時: 2012 年 11 月 15 日 (木) - 11 月 16 日 (金)

場所: 富山国際会議場 (大手町フォーラム)

住所: 〒930-0084 富山県富山市大手町 1 番 2 号

URL: <http://www.ticc.co.jp/>

■開催概要

IC2012 では、インターネット技術に関する論文を幅広く募集します。プログラム委員会は以下のテーマを例として提示しておりますが、これに限るものではありません。

■コンファレンスのテーマ

インターネットアプリケーション、クラウドコンピューティング、グリッドコンピューティング、ソフトウェア定義ネットワーク (SDN)、仮想化技術、ネットワークアーキテクチャ、プロトコルデザイン、経路制御、QoS 保証、マルチキャスト、モビリティ、ディレイトランスパレントネットワーク (DTN)、ホームインターネット、インターネットアライアンス、トラフィック解析、トラフィック制御、セキュリティ、認証、アクセス制御、ウェブ技術、情報検索、モバイルエージェント、管理・運用・計測技術、性能評価、テストベッド技術、分散処理、オペレーティングシステム、アクセシビリティ、防災ネットワーク、被災地支援ネットワーク

■論文募集

インターネットの次世代を担う質の高い論文の応募を期待します。応募された論文は、新規性、有用性、実装・評価、インターネットの発展への貢献、という観点からプログラム委員会で査読を行い、採否を決定いたします。ただし、既発表の論文あるいは学会等が発行する論文審査を伴う刊行物に投稿中の論文は受理できません (二重投稿の禁止)。

論文発表は、発表自体に重点を置く『report 型発表』と、質疑応答に重点をおく『discussion 型発表』に分けて行います。発表形式は論文の質とは無関係です。どちらを希望するかを論文投稿時にご記入ください

さい。ただしプログラム委員会での決定により、ご希望にそえない場合もあります。なお、論文集においては両者の区別はありません。

時間配分は、report 型発表は発表時間が 25 分・質疑時間が 5 分、discussion 型発表は発表時間が 15 分・質疑時間が 15 分を予定していますが、最終的には、プログラム作成時にプログラム委員会で決定させていただきます。

■ポスター募集

IC2012 ではポスター展示を予定しております。フルペーパーに関する発表の他、フルペーパーとして投稿するには未成熟な現在進行形のホットな研究や萌芽的なアイデアについても議論する場を設けます。ぜひポスターを展示し、より多くの方との交流を深めていただければと思います。

フルペーパーを投稿される方は、ポスター展示希望の有無をご記入下さい。フルペーパーの投稿をされない方は、A4 2 ページの概要を作成して下さい。

■デモンストレーション募集

IC2012 ではデモンストレーション展示を予定しております。論文発表やポスター展示について、より理解を深める場としてデモンストレーション展示をご活用下さい。なお、会場にはインターネット接続が用意される予定です。

■論文誌との協調

IC2012 で発表された論文の中で優秀な論文は、IC2012 プログラム委員会から、協賛である電子情報通信学会インターネットアーキテクチャ研究会 (IA) を通して、論文誌 (和文あるいは英文) への推薦などを予定しています。

■論文投稿方法

投稿パターン

以下のパターンから選択し、投稿して下さい。

- 論文発表 (フルペーパー投稿)
- 論文発表 (フルペーパー投稿) + ポスター (概要不要)
- 論文発表 (フルペーパー投稿) + デモンストレーション
- 論文発表 (フルペーパー投稿) + デモンストレーション + ポスター (概要不要)
- ポスター発表 (概要投稿)
- ポスター発表 (概要投稿) + デモンストレーション

論文発表 (フルペーパー投稿)

投稿締切: 2012 年 9 月 14 日 (金)

提出形式: フルペーパー、A4 6-10 ページ程度 (PDF による電子投稿)

採否通知: 2012 年 10 月 12 日 (金)

カメラレディ提出期限: 2012 年 10 月 26 日 (金) (PDF による電子投稿)

言語: 日本語、英語

ポスター発表(概要投稿)

投稿締切: 2012年10月19日(金)(締切延長はありません)

提出形式: 概要、A4 2 ページ(PDF による電子投稿)

採否通知: 2012年10月26日(金)

言語: 日本語、英語

論文発表、ポスター発表とも、詳細な投稿手順は IC2012 のウェブページ <http://www.internetconference.org/> にてご確認ください。

■著作権等

投稿された論文の著作権は著者に帰属します。

ただし、著者は採択された論文の論文集および IC2012 のホームページへの掲載、ならびに、それらの媒体を介した不特定多数への配布を許諾するものとします。

■主催(五十音順)

日本学術振興会産学協力研究委員会インターネット技術第163委員会(ITRC)

日本ソフトウェア科学会インターネットテクノロジー研究会(ITECH)

日本 UNIX ユーザ会(jus)

WIDE プロジェクト(WIDE)



■協賛(五十音順)

IEEE Communications Society Japan Chapter

ISOC 日本支部(再活性化中)

財団法人インターネット協会(AJapan)

九州インターネットプロジェクト(QBP)

九州ギガポッププロジェクト(QGPOP)

グリッド協議会(JPGRID)

サイバー関西プロジェクト(CKP)

情報処理学会インターネットと運用技術研究会(IOT)

情報処理学会関西支部

情報処理学会九州支部

情報処理学会システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会(OS)

情報処理学会ハイパフォーマンスコンピューティング研究会(HPC)

情報処理学会北陸支部

情報処理学会マルチメディア通信と分散処理研究会(DPS)

情報処理学会モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究会(MBL)

情報処理学会ユビキタスコンピューティングシステム研究会(UBI)

電子情報通信学会インターネットアーキテクチャ研究会(IA)

電子情報通信学会情報ネットワーク研究会(IN)

電子情報通信学会ネットワークシステム研究会(NS)

■運営協力

富山県立大学

■後援

富山市

公益財団法人富山県ひとつくり財団 高等教育振興事業助成金

■実行委員

石原丈士(日本 UNIX ユーザ会)

石山政浩(株式会社東芝)

岩本健嗣(富山県立大学)

宇多仁(北陸先端科学技術大学院大学)

衛藤将史(情報通信研究機構)

小柏伸夫(共愛学園前橋国際大学)

落合秀也(東京大学・実行委員長)

神屋郁子(九州産業大学)

川喜田佑介(電気通信大学)

川本芳久(大阪学院大学)

近堂徹(広島大学)

島慶一(株式会社 IJ イノベーションインスティテュート)

下川俊彦(九州産業大学)

砂原秀樹(慶應義塾大学)

関谷勇司(東京大学)

高田敏弘(日本電信電話株式会社)

寺田直美(電気通信大学)

中村素典(国立情報学研究所)

宮地利幸(情報通信研究機構)

山本成一(東京大学)

■プログラム委員

石山政浩(株式会社東芝)

今泉貴史(千葉大学)

植原啓介(慶應義塾大学)

宇夫陽次朗(株式会社 IJ イノベーションインスティテュート)

宇多仁(北陸先端科学技術大学院大学)

衛藤将史(情報通信研究機構)

小柏伸夫(共愛学園前橋国際大学)

古村隆明(京都大学)

近堂徹(広島大学)

齊藤明紀(鳥取環境大学)

島慶一(株式会社 IJ イノベーションインスティテュート)

高倉弘喜(名古屋大学)

高田敏弘(日本電信電話株式会社)

建部修見(筑波大学)

西田佳史(Dyyno, Inc)

野林大起(九州工業大学)

廣津登志夫(法政大学)

藤田祥(横河電機株式会社)

宮地利幸(情報通信研究機構・プログラム委員長)

山本成一(東京大学・プログラム委員長)

■プログラム

招待講演: 岡田敏美(富山県立大学教授)

「登山者電波位置探索システムの開発 ~地域ニーズに応える実用化研究~」

招待講演: 堀雅和(株式会社インテック 先端技術研究所)

グループマネージャー, 博士(情報科学))

「ユビキタスプラットフォーム実現に向けたインテックの研究開発(仮)」

参加募集の公開は9月中旬、プログラムの公開は10月初旬を予定しております。

■問合わせ先

IC2012 プログラム委員長

宮地利幸(情報通信研究機構)

山本成一(東京大学)

E-Mail: ic2012-submission@internetconference.org